

# 予算特別委員会

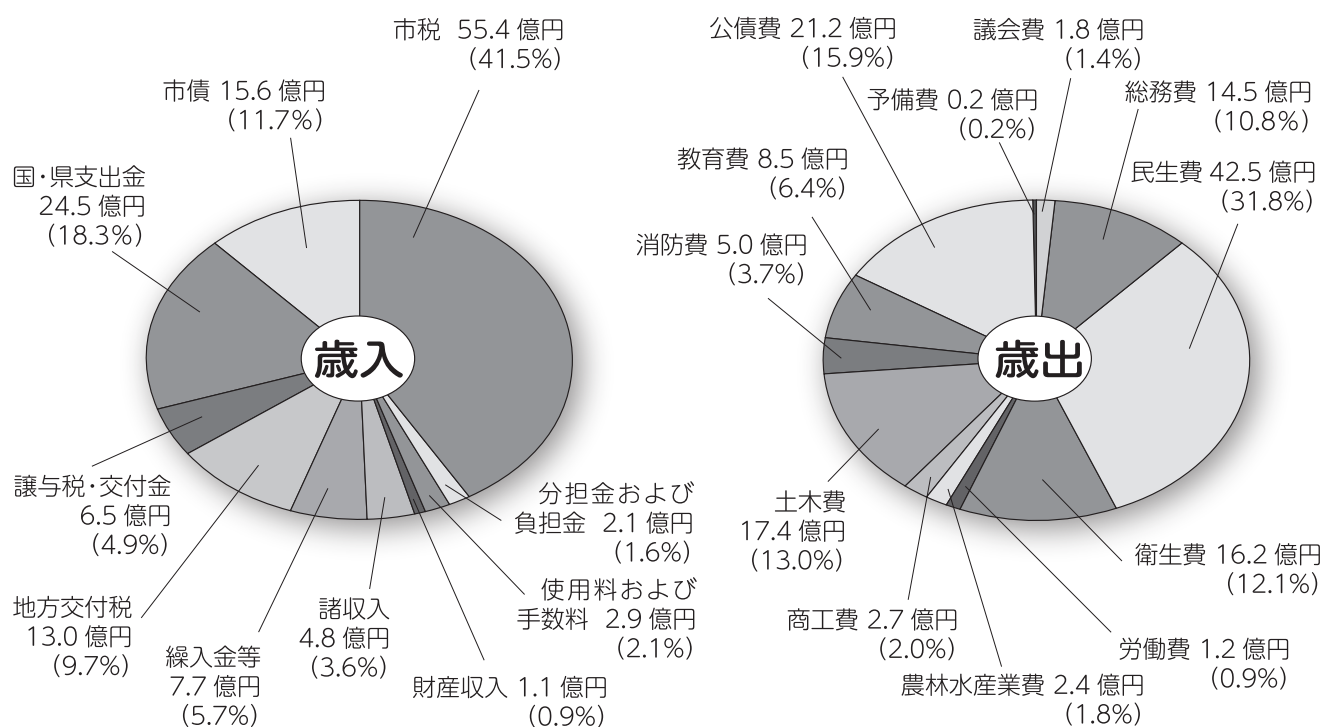
## 会計別予算額

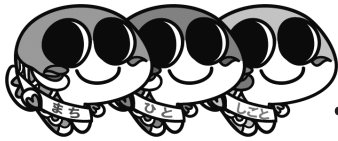
一般会計	133億 5,761万円	
特別会計	国民健康保険	42億 8,033万円
	漁業集落排水	3,441万円
	農業集落排水	4,716万円
	港湾施設管理受託	5,205万円
	土地造成	3億 1,126万円
	介護保険	30億 3,558万円
	後期高齢者医療	4億 4,229万円
	小計	82億 308万円
企業会計	水道事業	7億 3,769万円
	工業用水道事業	10億 7,598万円
	公共下水道事業	16億 5,097万円
	小計	34億 6,464万円
総合計	250億 2,533万円	

3月定例会において提案された、平成 29 年度各会計予算は、4日間(3月 13 日～ 3月 16 日)にわたり予算特別委員会において慎重に審査した結果、総額 250億 2,533万円(企業会計を含む)の予算を可決しました。

平成 29 年度の主要事業と、審査における質疑及び答弁の一部をご紹介します。

## 一般会計当初予算内訳 (総額 133.6 億円)





# 主要事業の一部



1億  
2,000万円

## 晴海臨海公園整備事業 (ファミリーゾーン遊具整備)

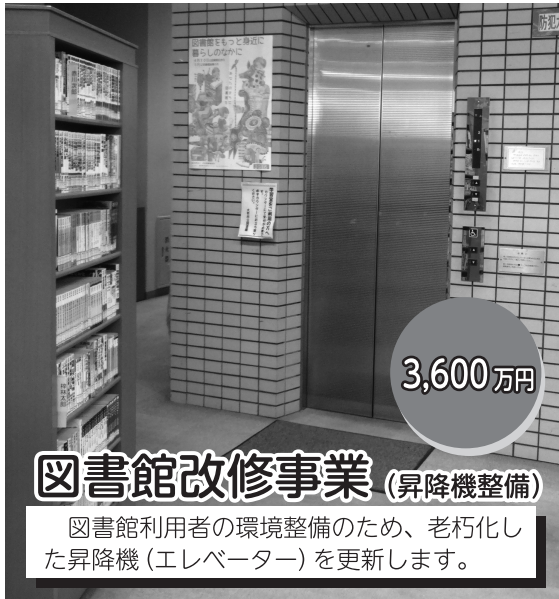
平成 29 年度はファミリーゾーンに大型遊具などを整備し、レクリエーションの場を提供します。

600万円

## 小方地区の まちづくり事業

JR 新駅設置を前提に、遊休地となっている旧小方小・中学校や市民プールの跡地を活用して、将来にわたり活力ある「まちづくり」を進めます。

平成 29 年度は、「小方地区まちづくり基本構想」に基づいてゾーンを特定し活用策や運営方法を検討します。



3,600万円

## 図書館改修事業 (昇降機整備)

図書館利用者の環境整備のため、老朽化した昇降機 (エレベーター) を更新します。



4,200万円

## 放課後児童クラブ運営事業

平成 29 年度からはすべての児童クラブで、高学年を含めた全学年の受け入れ態勢を整え、仕事と子育ての両立支援を充実します。

## 再編交付金

## 基金積立事業

2億  
2,200万円

### ○にこにこ子ども基金

保育環境の充実のため、集団保育を実施するうえで特に配慮を必要とする児童を支援する保育士を配置します。

### ○健やか安心基金

- ・妊婦乳幼児健康診査事業
- ・妊産婦健康診査等支援事業
- ・大腸がん検診自己負担額無料化事業など5事業を実施しています。

### ○阿多田診療所基金

平成 20 年度から阿多田診療所の運営補助事業を実施しています。



1,700万円

給食センター

## ひろしま地産地消促進事業

マロンの里を中心に、地域が一体となった野菜作りを行い、一定量の野菜を集めて給食センターへ出荷し地域産業 (農業) の維持と地産地消を促進します。

予算特別委員会での  
質疑・答弁

●砂防事業に伴う  
白石墓地移転事業について

Q 移転場所等進捗状況を問う。

A 広島土砂災害の影響で、砂防堰堤の整備事業が停滞していたが、目途がたったため、大竹市で移転先の場所について近隣に選定し、地権者との協議や、およそ150基の墓地の所有者に対して意向調査を行った。

●無年金の方の  
救済対策について

Q 生活保護費の支給にあたる影響について問う。

A 影響については現時点では把握できていないが、県からも3月に通知が届くと連絡を受けており、年金台帳を作成していく中でしっかりと把握し、収入認定をしていきたい。

●ふるさと納税促進事業  
について

Q 支払手数料等額が増えているが新たな取り組み、また、市民等への周知を考えているのか問う。

A 魅力のある返礼品の拡充を進めるため、新たな商品を掲載する予定としている。他の民間ポータル（インターネット）サイトへの掲載も検討し全国へ向けPRしていきたい。

●廿日市市との可燃ごみ広域処理事業の進捗状況について

Q 可燃ごみ広域処理事業の進捗状況について、大竹市の負担は持ち込むごみの量についても交渉事項に入るのか問う。

A 平成28年5月に廿日市市で設計・建設・運営を民間に委託し今年1月から、建設にとりかかっている。維持管理費についてはごみの搬入量・処理量によって負担額が決まるが、どこまで大竹市が負担するのかなど、大竹市の不利益とならないよう折衝している。

●迷惑電話への対策について

Q 迷惑電話防止装置設置業務委託料の事業概要、また、他市での実例を問う。

A 県の全額補助事業で、高齢者被害を防ぐため、迷惑電話をシャットアウトできる迷惑電話防止機器30台を目標に設置するモニター事業である。平成28年度には東広島市で、平成29年度は新たに熊野町でも実施予定になっている。



●米軍再編交付金について

Q 交付基準があるのか問う。

A 航空機の機種・機数によって算定基準があり交付金は決まるが、機数には幅があるため少し増えたからと言って交付金の額は変わらない。

●中小企業技能講習会受講料補助金について

Q 今後の見通しについて問う。

A 中小企業者の技術の継承を大手企業も望んでいる。民間の教習機関が実施する一定の技能訓練講習会受講料の2分の1を補助する。今後は、監督者、職長の教育についても考えていく。

●大竹駅周辺整備事業について

Q 整備範囲について、駅周辺は含むのか、また、既存の駅舎の活用方法の検討状況を問う。

A 当面は自由通路と駅舎、広場の整備を行う予定であり、周辺道路等の整備は含んでいない。形状変更に伴い、支障になるため現在の駅舎は撤去し、賑わいの場を創出できるよう新しい駅舎の前側に交流広場を設ける計画としている。



### ●自主防災組織について

Q 現在の組織率、また1月に大規模な総合防災訓練があったが、その反省点を問う。

A 自主防災組織は35団体であり、世帯の組織率は63%である。

総合防災訓練は、関係機関が連携する初動訓練で、一定の成果があったが、自らが参加するという意識で参加できる体制づくり、また、組織づくりが必要である。

### ●財政推計における収支状況の見込みについて

Q 今後の大型事業がどの程度組み込まれているか、また市税収入減の見通しについて問う。

A 主な事業は、御園市営住宅6号棟、可燃ごみ広域処理施設、大竹駅周辺整備事業などである。また、市税の減少理由は、大竹港の工業団地での設備投資以降減価償却が始まることによる固定資産税減が主要因である。

### ●地方債償還元金について

Q 大願寺造成事業に係る返済はいつまで続くのか問う。

A 大願寺関係の自然公園分は平成57年度、土地造成特別会計への繰出金は平成32年度である。

### ●学校給食の食材納入について

Q 食材の納入にあたっての方針を問う。

A 適切な栄養供給を前提に、地産地消の考えのもと、市内生産、続いて県内産、国内産へと選んでいる。

また、鮮度がよいものであるよう毎日検収作業を行っている。加工食品はなるべく添加物がないものとしている。



大竹郷土料理の日の給食

### ●認知症サポーター育成について

Q 育成対象者やサポーター数等、計画や目標があるのか問う。

A 市内の銀行職員や、大竹高校の2年生等を対象に、毎年サポーター養成講座を開催している。今後は可能であれば商店等でも養成講座を開くよう委託先の法人と話をしていきたい。



認知症サポーター養成講座(大竹高校)

### ●国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療等の保険料について

Q 各事業の保険料が前年度と比べてどう変わる予定か問う。

A 国民健康保険は、予算ベースでは5%程度上がると予測している。介護保険、後期高齢者医療は所得が変わらない限り、平成28年度と29年度の保険料は同額である。

### ●総合事業による要支援1、2の皆さんへの措置について

Q 国の制度改正による今後の給付について市の考えを問う。

A 訪問介護、通所介護は総合事業に移行するが、大竹市ではこれまで通り利用出来る区分も設定しており、サービスが無くなることはない。様々なサービスが使えるようにしていきたい。

### ●小島潮遊池の現状について

Q 潮遊池は葦が茂り、雑木が生えている状態である。機能が損なわれていないのか問う。

A 潮遊池は面積も広く簡単ではないが、ボトルネックの解消に努めていく中で維持管理をしていく。また来年度、各ポンプ場も含め、検証等していく予定である。

～委員会での討論～

【反対討論】

○「土地開発公社の問題など、行政や議会の責任もあり、反対せざるを得ない。」

○「国民健康保険特別会計は、国民健康保険を広域化し、県が決める標準的な保険料に市が合わせるということや、広域化により地域医療がよくなると思えない。」

【賛成討論】

○「予算全体として、第5次総合計画の重点項目を前進させ、大竹工業団地や小方ヶ丘団地からの税収の一部を繰り入れ、健全化を図る予算であると受け止め賛成である。」

○「国民健康保険や後期高齢者医療において、人口減少が進み、ますます高齢化が進む中、安心安全に暮らせるまちづくりを進めている。」

※委員会で採決の結果、

全会計ともが原案のとおり可決



～本会議での討論～

【反対討論】

○「違法公金支出損害賠償請求事件について上告の報告を受けました。現在も係争中であるとの理由で、一般会計、土地造成特会に反対。」

○「一般会計について、シルバー人材センターへの補助金支出のうち、社会福祉費・小学校費の予算書表記に疑問があり反対せざるを得ません。」

【賛成討論】

○「当時、市民も議会も土地が売れないことに危機感を持っていた。様々な議論の場で、早く売るよう多くの議員の発言や議論があった中で可決と受け止めている。」

○「約170にも及び問いに対する各担当職員の答弁に敬意を表し、市民の安全・安心に向け、前年よりは減額予算組みの中、職員の努力を認め賛成とします。」

本会議で採決の結果

全会計とも原案のとおり可決

予算特別委員

委員長  
副委員長  
委員

網谷芳孝  
賀屋幸治  
児玉朋也  
西村一啓  
日域雅三  
細川雅子  
山本孝三



政務活動費の公開について

平成27年度分(9月～3月の現議員分)政務活動費収支報告書を市ホームページで公開しています。

【大竹市HP→市議会のページ→政務活動費】

領収書については情報公開の手続きが必要となりますのでご了承ください。

詳しくは、大竹市議会事務局までお問い合わせください。